

令和元年度「長久手市役所の仕事」通知表の作成（外部評価）⑧

令和元年 8 月 2 日 開催概要

開催概要	
会議等の名称	令和元年度行政評価・外部評価⑧ 「防災訓練事業」【安心安全課】
開催日時	令和元年 8 月 2 日（金） 午前 10 時 45 分から午前 11 時 45 分まで
開催場所	市役所西庁舎 2 階 第 7・8 会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p><外部評価実施者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政改革推進委員 山本理絵、樋口和則、島田智子 ・外部評価委員 安藤美智子、市岡紗理奈 <p><担当課></p> <p>くらし文化部長 浦川 正、安心安全課長 南谷 学、同課主幹 栗寄穂積</p> <p><事務局></p> <p>行政課課長補佐 児玉 剛、同課係長 加藤優作</p>
傍聴者人数	6 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備考	

外部評価実施者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標における訓練参加者数について、目標が前年の参加者数というのは、やや安直に感じる。参加者数の状況、増減理由を分析し、目標をたてるようにするとよい。 ・成果指標における取組率について、具体的な課題がいくつあるか不明、具体的な課題内容、それに対する改善等が不明であり、具体性に欠けており、行政評価票に記載してほしい。 ・参加者数の目標値について、前年実績ではなく、小学校区ごとに参加割合を算出し、それに毎年の人口の増減率を加味し、目標値を算出すると説得性が出てくると思う。 ・成果指標について、市民参加型となっていることが測れるような指標の設定を検討されたい。例えば、市民参加型で企画、運営に携わった人数の増加などを考えてほしい。 ・参加者数の減少の対策について、小学校区ごとの参加率を公表し、競うのではないが、参加者同士が共通認識することで、意識の向上
-------------	---

	<p>につながると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対応において、避難を前提にした避難所での訓練も重要であるが、全員が避難することは難しいと思い、他方では自宅で過ごす場合も想定できるため、自宅で災害対応をする訓練（講習会）も考慮してほしい。 ・災害弱者への対応は色々な課題があるが引き続き取り組んでほしい。 ・災害にも、地震、水害等で色々あるため、自分の住んでいるところの状況（危険性の認識）を知ることによって訓練の重要性の意識が向上することがあると思う。行動の訓練だけでなく、知識面についても、講習会などを実施されてカバーできるとよいと思う。 ・若い世代の参加について、インターネットのさらなる活用を検討してほしい。特に、検索で引っかかることは重要であり、テキストで作成されるとよい。また、ホームページだけでなく、SNSも活用してほしい。 ・参加者数を増やす取組として、体験型の訓練を増やすことを検討されるとよい。 ・訓練実施後の検証会で各小学校区の課題や先進的な活動事例について、市全体で互いに情報を共有されるとよい。他の小学校区のことを知ることはよいことと思う。 ・場合によっては、小学校区にこだわらなくてもよいこともあると思う。避難所ごとや、自治会ごとなども考えられると思う。 ・長久手市の防災マップはとても有効的なものであるため、より市民に周知、アピールしてほしい。
--	---

<p>講評・まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の参加者数に関する目標のたて方について、工夫するとよい。 ・訓練課題について、行政評価票で明確化し、外部に見やすいようにしてほしい。 ・市民参加型として、特に若い世代の参加について、引き続き色々模索し、取り組まれない。 ・訓練のあり方として、体験と知識のバランスを考慮し、訓練の内容をより効果的なものにしてほしい。
---------------	---